

議 事 録

会 議 の 名 称	第 1 0 回小川北学区義務教育学校開校準備委員会																																																			
開 催 日 時	令和元年 6 月 2 6 日 (水) 1 9 時 0 0 分～ 2 0 時 1 5 分																																																			
開 催 場 所	小川文化センター アピオス 小ホール																																																			
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>沼田 誠司</td> <td>小川 勲</td> <td>田村 孝広</td> <td>澤 英治</td> </tr> <tr> <td>吉田 洋子</td> <td>芝田 健二</td> <td>織田 剛</td> <td>戸塚 良和</td> </tr> <tr> <td>市根井克年</td> <td>成井 志野</td> <td>沼田 和幸</td> <td>藤田 康広</td> </tr> <tr> <td>櫻井 謙治</td> <td>山口 恵子</td> <td>久保田達雄</td> <td>長谷川美智子</td> </tr> <tr> <td>川澄 芳英</td> <td>萩野谷邦夫</td> <td>高野 郁</td> <td>関澤 恒美</td> </tr> <tr> <td>皆藤 正造</td> <td>小森 真史</td> <td>高久 誠二</td> <td>萩原 栄</td> </tr> <tr> <td>細山 美好</td> <td>中川 稔</td> <td>成井 嘉男</td> <td>鳥羽田 力</td> </tr> <tr> <td>藤井 敏生</td> <td>長島 幸男</td> <td>幡谷 好文</td> <td>石井 旭</td> </tr> <tr> <td>松本 和恵</td> <td>櫻井美智子</td> <td>皆川 卓夫</td> <td>高野 晴夫</td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>片岡 友加</td> <td>田上 光一</td> <td>大曾根慎悟</td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>加瀬 博正</td> <td>中村 均</td> <td>白井 律子</td> <td>菅谷 清美</td> </tr> <tr> <td>片岡 理一</td> <td>野尻 秀子</td> <td>植田 薫</td> <td>阿久津友紀</td> </tr> <tr> <td>入野裕美子</td> <td>田口 智大</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	沼田 誠司	小川 勲	田村 孝広	澤 英治	吉田 洋子	芝田 健二	織田 剛	戸塚 良和	市根井克年	成井 志野	沼田 和幸	藤田 康広	櫻井 謙治	山口 恵子	久保田達雄	長谷川美智子	川澄 芳英	萩野谷邦夫	高野 郁	関澤 恒美	皆藤 正造	小森 真史	高久 誠二	萩原 栄	細山 美好	中川 稔	成井 嘉男	鳥羽田 力	藤井 敏生	長島 幸男	幡谷 好文	石井 旭	松本 和恵	櫻井美智子	皆川 卓夫	高野 晴夫	片岡 友加	田上 光一	大曾根慎悟	加瀬 博正	中村 均	白井 律子	菅谷 清美	片岡 理一	野尻 秀子	植田 薫	阿久津友紀	入野裕美子	田口 智大		
沼田 誠司	小川 勲	田村 孝広	澤 英治																																																	
吉田 洋子	芝田 健二	織田 剛	戸塚 良和																																																	
市根井克年	成井 志野	沼田 和幸	藤田 康広																																																	
櫻井 謙治	山口 恵子	久保田達雄	長谷川美智子																																																	
川澄 芳英	萩野谷邦夫	高野 郁	関澤 恒美																																																	
皆藤 正造	小森 真史	高久 誠二	萩原 栄																																																	
細山 美好	中川 稔	成井 嘉男	鳥羽田 力																																																	
藤井 敏生	長島 幸男	幡谷 好文	石井 旭																																																	
松本 和恵	櫻井美智子	皆川 卓夫	高野 晴夫																																																	
片岡 友加	田上 光一	大曾根慎悟																																																		
加瀬 博正	中村 均	白井 律子	菅谷 清美																																																	
片岡 理一	野尻 秀子	植田 薫	阿久津友紀																																																	
入野裕美子	田口 智大																																																			
協 議 案 件	<p>(1) 本年度スケジュールについて</p> <p>(2) 専門部会について</p> <p>(3) 校名選定について</p>																																																			
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 他)																																																			
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																																			
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0 人)																																																			

【教育長あいさつ】

新しい委員の方16名をお迎えして、本年度第一回目の会議を開くことができました。今までの会議結果に基づいたうえで、また新しく出発するということとなります。昨年度までは、建築のハード面の協議をしていただきました。本年度は、ソフト面の方を、慎重に協議していきたいと考えております。ここが一番大事なところですので、皆様のご意見を聞きながら、新しい学校をつくっていくための準備をさせていただきたいと思っております。本年度の委員会は3回ほど予定しておりますので、その都度ご指導のほどよろしくお願いいたします。

【委員長あいさつ】

委員長を仰せつかって本年度で3年目になります、上吉影小学校の久保田 達雄と申します。夜分に多数お集まりいただき、本当にありがとうございます。教育長からお話がありましたように、本年度は様々なソフト面の話が出てくるということで、皆様の前向きなご意見を集約しながら進めていきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【協 議】

- (1) 本年度スケジュールについて
- (2) 専門部会の構成について

資料1・資料2に基づき、事務局より説明

事務局 本年度スケジュールについて、資料1をご覧ください。

本年度の準備委員会の開催は、本日を本年度第1回目として、10月と来年2月の計3回を予定している。本年度は、校名の選定と、部会からの報告事項の協議を行う予定である。

また、本年度からは準備委員会の下に専門部会を設置し、令和5年の開校までに決定すべき事項となる制服・体操服・通学体制等の検討を進めていきたいと考えている。専門部会については、総務・通学部会は計3回、PTA部会は年度末に1回、学校運営部会は適宜開催の予定としている。

専門部会の構成については、資料2裏面の参考1をご覧ください。準備委員会の組織図となっている。図のように、準備委員会の下に「総務・通学部会」「学校運営部会」「PTA部会」を設置し、部会で検討・協議した内容について、準備委員会において協議することになる。

それぞれの部会における具体的な検討事項については、組織図の下にある参考2をご覧ください。総務・通学部会では校章・校歌・制服・体操服や通学体制について、学校運営部会では教育課程・学校行事・施設備品・交流事業について、PTA部会ではPTA組織の運営や規約について、それぞれ検討していく。

次に、部会の委員構成について、資料表面の専門部会構成案をご覧ください。委員の構成については、準備委員会設置要綱で定められており、総務・通学部会は学校関係者職員・保護者代表・地域代表者、学校運営部会は学校関係者職員、PTA部会は学校関係者職員と保護者代表とされている。人数については定めがないため、「部会名」の欄に事務局の案として記載し

ている。総務・通学部会が11名、学校運営部会が4名、PTA部会が12名としている。

続いて、委員の構成だが、表の「部会員」の欄をご覧いただきたい。学校職員については、あらかじめ調整し名前を記載している。総務・通学部会には、保護者代表として、各小中学校のPTAから1名ずつ計4名、地域代表者として各小学校区の区長から1名ずつ計3名、選出していただきたい。また、PTA部会については、各小中学校のPTAから2名ずつ計8名、選出していただきたい。

また、各専門部会においては、部会長・副部会長を決めることとなるが、設置要綱第8条第4項に「委員の互選によって定める」と規定があるため、第1回目の部会開催時に決定したいと考えている。

委員長 はじめに、スケジュールについて、意見等はあるか。

— 意見等なし —

委員長 では続いて、事務局より提案があった専門部会の構成と人数について、各グループで協議願いたい。

— グループ協議 —

野田小 PTA部会についてだが、現役のPTAだけにこだわらず、以前PTAを務めていた方も含めて、広く意見を取り入れる形にした方がよいのではないか。また、総務・通学部会について、地域代表者は3名では少ないという意見が出た。多くの地域の方から意見を募った方が、より良い学校づくりができるのではないか。

上吉影小 資料2の案で問題ない。

下吉影小 資料2の案で問題ない。

小川北中 資料2の案で問題ない。

委員長 現役の委員だけにこだわる必要はないのではないかと、地域代表者を増やした方がよいのではないかとという意見に対して、事務局の考えを聞きたい。

事務局 専門部会については、準備委員会の委員39名の中から選出をお願いしたい。

委員 準備委員会の外から委員を選出することだけではなく、委員の中で人数等を区切らずに、広く全員から意見を取り入れた方がよいのではないかと。

委員 準備委員会の委員は39名だが、専門部会に入るのは、案によればそのう

ちの27名である。27名以外の方については、どうなるのだろうか。

事務局 昨年度1回目の準備委員会の際に配布した「準備委員会設置要綱」において、委員の構成は決められている。総務・通学部会については学校関係者・保護者代表・地域代表者と決まっているので、この構成でお願いしたい。

また、資料2の設置要綱第8条第8項をご覧ください。「部会長は、必要があると認めるときは、会議に部会員以外の者の出席を要請し、意見若しくは説明を聞き、又は資料の提出を求めることができる」とある。部会員以外の方は、この規定によって、部会に入ることができる。

委員長 事務局の意見を要約すると、要綱については昨年度配布し、すでに決定していることなので、それに従って進めていくということになる。

委員 専門部会に所属していない委員は、今後の会議には参加の必要がないということにならないか。

事務局 準備委員会には、委員全員に参加していただく。本年度は3回予定しており、専門部会が協議・検討した内容の報告を受けることになる。

委員 部会の報告に対して、意見を言うことはできないのか。

事務局 あくまで協議した結果を報告するのであり、決定ではないため、報告に対して準備委員会で意見が出れば、部会に戻して再協議ということも考えられる。

委員長 資料2の構成案でよいとの意見が大半であるため、続いて部会員の選出をお願いしたい。

— グ ル ー プ 協 議 —

別紙1のとおり、専門部会の構成を決定した。

【協 議】

(3) 校名選定について

資料3・参考1・参考2に基づき、事務局より説明

事務局 どのように選定を進めていくのかという手順について、参考1をご覧ください。校名選定は図のような流れで進めていく。まず、準備委員会において、校名をどのようにして選定するのか、その方法について決定する。次に、決定した方法に基づいて選定を行い、準備委員会にて協議し、校名の案を決定する。続いて、その校名案を市教育委員会に報告し、承認を得る。最後に、市議会において条例の改正案を上程し、議決されることによって校名の最終決定となるという流れである。本日の準備委員会では、選定方法の決

定を行いたいと考えている。

続いて、具体的にどのような選定方法が考えられるかについて、資料3を
ご覧いただきたい。案として、5つの方法を記載している。

校名案を準備委員会の中で出し合う方法が、①から③である。①は、各委員がそれぞれ校名案を出し合うというもの。②は、各委員が保護者や地区などの選出母体から校名案を取りまとめ、それらを持ち寄るというものである。この2つの方法では、教育委員会に校名案を報告するまでの流れが、全て準備委員会の中だけで完結することになる。③は、校名案を準備委員会で出し合い、それらを委員会だより等に掲載し、児童・生徒・保護者・地区からの投票によって候補を決定するものである。令和3年開校予定の玉里学園義務教育学校の校名を決定する際には、この方法が採用された。

次に、校名案を公募によって決定するものが④と⑤である。④は校名案を児童・生徒・保護者・地区から公募する方法。⑤は、④の方法の公募対象範囲を市全域に広げ、全市民から公募する方法である。

実際に他の自治体ではどのような選定方法が採られているかについては、参考2をご覧いただきたい。全国の義務教育学校の校名と選定方法について、表にまとめている。網掛け部分が茨城県内の義務教育学校となっている。玉里学園義務教育学校については、投票によって決定する方法を採用したが、実際には、投票用紙に校名案を自由に記述できる欄を設けたことにより、公募に近い方法となったため、選定方法の欄は「公募」となっている。

教育長 今までに小川南小学校・玉里学園義務教育学校の校名を決定してきた経験上、自由な形で公募すると、漫画的な校名案が多数出てきて、頭を悩ませたことがあった。そこで、教育委員会としてお願いしたいのだが、「小美玉市立」と「義務教育学校」を校名に付していただきたい。

委員 教育長からの意見を踏まえたうえで、選定方法について、どの案で進めていくか、協議願いたい。

— グ ル ー プ 協 議 —

野田小 ③か④ということでまとまった。どちらの場合も、児童・生徒は外してもよいのではないかという意見が出た。

上吉影小 校名案を自由な形で募集すると、たくさんの案が集まるため、收拾していくのが大変である。委員が原案を出し、準備委員会で絞ったものから投票する③がよい。また、公募の場合、一個人の考え方が反映された名前になってしまうのはどうなのかという意見があった。

下吉影小 ③と④のどちらに当たるのか区別が難しいが、準備委員会で全て決めるのではなく、学区内の方の意見を募る方がよい。ただし、教育長から話があったように、校種が分かるよう「小美玉市立」「義務教育学校」を付けるのが

望ましいのであれば、「小美玉市立」と「義務教育学校」の間の部分を募るのがよいのではないか。

小川北中 ③か④で意見が分かれた。④の場合は、狙いやテーマをはっきりさせ、ある程度条件を示した上で公募した方がよい。児童・生徒はぜひ入れたいという意見もあった。

委員長 ③の方法は、どのグループも共通していたように思う。④の意見も捨てがたいので、③の投票用紙に「その他」という項目を設け、準備委員会の外からも案を募ることは可能か、事務局に確認したい。

事務局 可能である。玉里学園義務教育学校の校名決定の際は、「その他」の欄を設け、自由記述という形で案を募った。

委員長 「その他」の欄を設けることで、挙がった意見をほとんど網羅できるかと思うが、いかがだろうか。

— 意見等なし —

委員長 そのような形で進めさせていただく。自由記述という点では公募となるが、狙いやテーマをはっきりさせた方がよいという意見も出たので、それらを付け加えた方が良いかどうかについては、事務局の方で練っていただきたいと思う。

では確認だが、選定方法については③の形式とし、「その他」として自由記述欄を設けることでまとまったということで、よろしいか。

— 意見等なし —

委員長 校名案については、本日、案を出し合ってみてはどうか。協力願いたい。

— グループ協議 —

野田小 「小川北」、「野田吉影」、「小川中央」という案が出た。

上吉影小 どこにある学校か分かること、現在の小川北中学校の後ろに校舎ができること、今の名前を大事にしたいということから、「小美玉市立小川北義務教育学校」という案が出た。また、「小川北」と漢字表記にするか、「おがわ」と平仮名表記にするかについては、考えたいところである。

下吉影小 「小川北義務教育学校」がよいのではという意見が出た。

小川北中 「小美玉市立小川北義務教育学校」という案が出た。「小川」を名前に残したいということや、小川南に対して北にあることから、小川北中学校としては、「小川北」を残したいということになった。

委員長　それぞれの思いが詰まった案が出された。これらを参考にしながら校名案の作成をお願いできればと思う。

【その他】

次回の会議日程について、事務局より説明

事務局　次回の準備委員会は、10月の開催を予定している。校名案については、本日の協議で挙がったものをまとめ、事務局で整理したうえで、提案させていただく。合わせて、投票の募集要項についても作成し提案する。

部会については、総務・通学部会の開催を8月に予定している。

また、準備委員会の会場について、これまでアピオスで開催してきたが、今後改修が始まる予定のため、10月の委員会については、学校の体育館等、別の会場で行うこととなる。日程・場所については改めて通知させていただくが、会場を間違えることのないよう注意願いたい。

20:15 閉会

令和元年度専門部会構成

部会名	主な検討事項	委 員	部会員	役職	学校名
総務・通学部会 (11名)	1 校章	学校関係者職員	1 藤田 康広		野田
	2 校歌		2 久保田 達雄		上吉影
	3 制服の有無		3 萩野谷 邦夫		下吉影
	4 体操服等		4 皆藤 正造		小川北
	5 通学体制	保護者代表	1 沼田 誠司		野田
	6 通学路		2 片岡 友加		上吉影
	7 スクールバス		3 芝田 健二		下吉影
			4 市根井 克年		小川北
		地域代表者	1 細山 美好		野田
			2 中川 稔		上吉影
			3 鳥羽田 力		下吉影
学校運営部会 (4名)	1 教育課程	学校関係者職員	1 高野 郁	部会長	下吉影
	2 学校行事		2 長谷川 美智子		上吉影
	3 施設備品		3 山口 恵子	副部会長	野田
	4 交流事業		4 高久 誠二		小川北
PTA部会 (12名)	1 組織編制	学校関係者職員	1 櫻井 謙治		野田
	・ 役員選出		2 小森 真史		小川北
	・ 運営計画		3 関澤 恒美		下吉影
	・ 予算		4 川澄 芳英		上吉影
	2 規約	保護者代表	1 小川 勲		野田
			2 田村 孝広		野田
			3 澤 英治		上吉影
			4 吉田 洋子		上吉影
			5 戸塚 良和		下吉影
			6 織田 剛		下吉影
			7 成井 志野		小川北
			8 沼田 和幸		小川北